

鋭い質問で 町政に斬り込む！

12月17日に多古中学校2年生による模擬議会が行われました。政治を身近なものに感じるとともに、町議会や行政、町民が果たす役割について理解を深めようとするもので、12名の中学生議員が登壇し、日頃感じていることについて一般質問を行いました。その内容を要約してご紹介します。



中学生議会

作成、御城印(全13種類)の発売、観光ガイドブックの作成などを行い、町の観光地、城跡関係のPRを行っています。また、昨年新たに千葉氏をイメージして、馬に乗った武者姿のふっくらたまこさんのデザインを作成しました。(生涯学習課 文化係長)

7 修学旅行先の再検討を

問 修学旅行先がグアムになりまして、海外へ行くよりも国内の方が学習の場としてふさわしいと思います。現段階では決めかねると思います。が、いつまでに、何を基準に、どんな方法で決定するのか教えてください。

答 現在、すでにグアムを念頭に中学校で準備しているとお聞きしています。行き先が海外であることに不安な方も多いと思いますが、海外での経験は、決して無駄にはなりません。行き先がどこにだけこだわることではなく、想像もできない経験を期待してぜひ、前向きに考えていただけたいです。(学校教育課 学校教育係長)

8 プールの活用を

問 現在、中学校のプールは壊れていると聞きました。授業でプールに入りたいのですが、町のお金でプールを修理することはできませんか。または、解体をして駐車場や屋外活動場所として運用できるのではないのでしょうか。

答 現在、中学校のプールの修理は、プールに入りたいのですが、町のお金でプールを修理することはできませんか。または、解体をして駐車場や屋外活動場所として運用できるのではないのでしょうか。

1 農業人口増加に向けた取り組みは
伊東 岳琉さん
問 農業は、町の目玉産業の一つです。減少傾向にある農業人口を増やすための取り組みや考えはありますか。

答 町では、農業を衰退させないために認定農業者や農業法人などに補助金を交付したり、国の制度を活用して支援を行っています。また、高齢で農業を辞めざるを得ない方々の農地を、規模拡大を進めたい農家が利用できるよう、農地の流動化にも努めています。(産業経済課 農業振興係長)

2 スピード感ある対応を
小川 さくらさん
問 令和元年の台風を経験し、町に必要なことは、自然災害への早い対応と補助額の上限を上げることだと思いましたが、そのような観点から、どのように考え、取り組んでいますか。

答 令和元年台風15号等の記録的な暴風雨は町に甚大な被害をもたらしました。職員を含め、工事業者の方々も無我夢中で対応してきたことにご理解をいただきたいと思っています。補助額は、法令や被害の状況に応じて決められており、被害に遭われたすべての方に平等に行き渡るようにするためには金額の上限は必要だと考えています。(都市計画課 都市計画係長)

3 これからもおいしい給食を
山倉 凛花さん
問 給食費が無料になってからメニューが少し変化したように感じます。これからもおいしい給食が食べたいので、何か私たちにできることや給食センターでの取り組みはありますか。

答 平成30年度から保護者の負担軽減などを目的に、給食費を町が負担しています。一食当たりの給食費は前と同じなので、おかげで一品減った、内容が悪くなったということはありません。生活習慣病対策により、塩分などの摂取基準が減っているため、食味の違いはあると思いますが、栄養バランスを考えて献立を作成しています。感謝の気持ちを持ち、好き嫌いをなく、笑顔でおいしく給食を食べていただくことが私たちの願いです。(学校給食センター 学校給食係長)

4 人口減少への対策は
野平 芽依さん
問 子育て支援として「3つの0」を掲げて人口増加や移住の推進をしているにも関わらず、人口が減少していることへの対策と、新しいベクトルを開発への考えを聞かせてください。

答 少子化問題は、数十年かけて進展してきたものであり、数年の施策だけで大きく変わるものではないため、長い期間をかけて取り組むべきだと考えています。新しいベクトルは、近隣市町村にとって大きな課題であり、移住定住促進のためにも様々な要素を勘案しながら引き続き検討していきます。(企画空港政策課 空港地域振興係長)

9 平等な支援を

問 子育て世代や高齢者への支援はされていますが、それらに当てはまらない町民への支援は薄いと感じます。平等感をキープするために、クーポン券や給付金を配布することで、町全体がさらに活性化するのはないでしょうか。

答 町では、少子化対策として様々な子育て支援策を展開し、子育てしやすい町ナンバーワンを目指しながら誰もが暮らしやすい町づくりを進めています。町民の皆様からお預かりした税金を効率的、効果的に使うことを常に心がけており、限られた財源で現金給付などのサービスを展開することは、現実的に厳しいと考えます。(子育て支援課 こども係長)

10 寄り添った対応を

問 空港の第3滑走路の騒音地区にならぬもの(住居以外)を町が助成することはできないのでしょうか。

答 空港の第3滑走路の騒音地区にならぬもの(住居以外)を町が助成することはできないのでしょうか。

5 音量の検討を
平山 菜央さん
問 防災無線は、毎日有益な情報や災害の危険性などを知らせてくれる、町民にとってなくてはならない存在だと思いますが、授業に集中して取り組むために、多古中近くの防災無線の音量を小さくしてほしいです。

答 町には、屋外に13機の通称「パンザマスト」と呼ばれている拡声機があり、音が干渉することなく、町内全域へ放送が届くよう、音の届く範囲、設置場所、向き、音量を計算して設置しています。もし、音量を小さくしたり止めたい場合、放送が聞こえにくくなったり、聞こえなくなる地域が発生すると、住民サービスを低下させてしまうことにもなりますが、少しでも音量が下げられるかは再度検討したいと考えています。(総務課 交通防災係長)

6 歴史を活用したPRを
杉山 菜那さん
問 町は「千葉氏」と深い関係があり、PRの仕方次第では興味を持つ人も多くなるのではないのでしょうか。御城印や千葉市と協力体制をとったPR、新たなマスコミキャラクターを制作するなどの試みも面白いと思います。ご検討をお願いします。

答 現在、県の補助金を活用して作られた観光案内板の設置や、道の駅と協力して「多古城郭マップ」の

11 議会費9000万円の理由は
高山 侑希さん
問 町の家計簿をみると、総務費約30億円の内訳に町役場の維持費があると知りました。それとは別に、同じ役場の中にある町議会の議会費に約9000万円が使われているのはなぜですか。

答 総務費約30億円の主な内容は、町職員の人件費や広報などの発行費のほか、ふるさと納税、公共交通、新型コロナウイルス感染症対策費などの経費が含まれます。一方、議会費は、町議会議員に対する報酬や手当のほか、議会事務局職員の人件費などであり、総務費と議会費は全く別の経費になっているからです。(財政課 財政係長)

12 登下校に合わせた運行を
佐藤 杏奈さん
問 登下校に循環バスを利用していますが、現在の時刻表では部活動の朝練に間に合わず、放課後は1時間以上待つことがあります。児童生徒を対象とする時刻表に変更することはできないのでしょうか。

答 町では、公共交通の方向性を検討するため、地域公共交通会議を開

模擬議事を終えて
平山 博久 校長
中学生議員の質問は、中学生が普段感じていることを、個人の考えだけでなく、中学2年生の意見、さらには1年生及び3年生を含めた多古中学生全員の想いや声を届けていたと思います。ぜひ、町行政担当者の皆様には生徒たちの素直な意見を真剣に受け止めていただき、多古中学校の生徒たちや多古町住民のために、できることから改善を図ったり、取り組みを進めていただければありがたいと思います。

〈謝辞〉
中学生議会を開いてくださった、関係者の皆様、本当にありがとうございました。僕は、前から国会の映像等を見ていて政治には興味がありました。普段感じたことのない緊張感の中、多古町は発展していったんだと感じました。この緊張感を忘れずに、大人になってもこの経験を生かしていきたいと思っています。



中学生議会
議長 佐藤 健太郎さん